

令和6年度都立八潮高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・校内の漢字検定の実施 対策講座の実施 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内でのプレゼンテーションの実施 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募 ・グループワークの積極的な実施
地歴公民科	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の連携に基づく思考活動、表現活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識を身につけた上で、それらの関連から因果関係を考察する。 ・歴史的事象、地理的事象、政治的な事象について、自ら考え、それを活動の中で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味関心を持った事象を、深化統合し、相手に伝わる形で表現活動を行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な考え方を身に付け、主体的に学ぶ態度を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ端末を活用した、自宅学習を促す課題の配信 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施 ・数学検定の積極的な受験を促す
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の連携に基づく思考活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項を知識として身につけた上で、それらの関連から授業内容の把握につなげる教材の開発 ・互いに教え合うことによる学習を活性化し、自発的な取り組みを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、観察の結果等から論理的考察を経て多くの知見を得る授業を実施
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの多様な楽しみ方を学ぶ学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主導型授業の実践。 ・タブレットの効果的な利活用等により、個に応じた効果的・効率的な指導方法や評価方法、学習方法の開発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ログの活用により、エビデンスベースの最適化された学びを実践。
保健	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活スタイルの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・探求、家庭科等との教科横断的な指導の実践。 ・健康調査アンケートを把握・分析し、エビデンスに基づいた取組の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者と連携した授業の実践
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 存分に音を出し、主体的・想像的に音楽活動に取り組む指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員が自分の好きな曲紹介を行い、臆せずに発表できる場作りを行う ・実態に応じて多様な表現形態を取り入れる ・学校行事(合唱祭)を見据えた声作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を通じて、協働的な学習を促し、音と言葉によるコミュニケーションを図る
美術	<ul style="list-style-type: none"> 表現と鑑賞の総合的活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成し次につなげていくために振り返りと自己評価の取り組みを実施 ・集中力と基礎力強化のため毎授業に5分間スケッチを実施 ・小課題を重ねるスモールステップによる表現能力の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示を通し他者の心情や表現の意図や工夫を考え多角的な視野と感性を身に付ける機会を設ける ・自己や他者の作品を鑑賞し、言語での表現、意見交換する機会を設ける
書道	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」に生きる書への活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆による漢字とかなの習得。 ・毛筆の基本技術、書道全般の基礎知識を学び、手紙や葉書など、社会に出てからも役立つ実用書から作品制作まで導く 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の基本技術、基礎知識の応用 ・年賀状、ご祝儀袋、手紙などの制作
英語	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生各科目、学期ごとにパフォーマンステストを実施 ・1年生各教科、全ての授業で1分間の「話す」活動を実施 ・2年生 プレゼンのための基礎基本の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に台湾の高校が本校に訪問し生徒交流 ・1年生TGG体験 ・2年生 音読、暗唱の習慣化
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活を主体的に営み、実践する力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表活動を個人、班などを行い、視野を広げ、コミュニケーション能力を養う ・衣生活、食生活の単元では実習活動を取り入れ、問題解決能力や実践力を培う 	<ul style="list-style-type: none"> スマホ端末を積極的に活用しプレゼンテーションやデータによる課題提出を行う
情報	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育を、そのまま社会で活用できるスキルにつなげる実習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間補助教材(パソコン検定協会)を導入し、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入 ・ビジネスで多く利用されている Windows や Office アプリケーション、それらを最大限生かせるデバイスである Surface を組み合わせた活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・Surface機器の使い方だけでなく、効果的な活用へ向けて実践能力を高める。 ・さらにそれを定着させるには、普段の学校生活の中で定期的にICTが利用できる環境を提供する必要がある